



波 濤

http://www.geocities.jp/hatoh_net/

第 48 号

発行 放送大学神奈川県

編集委員会

責任者 木村 勝紀

発行日 平成26年11月11日

会員数 642名(平成26年11月1日現在)

絆を深め、広げましょう

神奈川県

副会長 佐菜 慎二



本年から神奈川県同窓会の副会長に就任した佐菜慎二です。読み難い苗字ですが、「菜」は「桑」と同じ意味を別表記したものです。

私は5年前に同窓会に入会致しました。世の中には

「同窓会」は沢山あり、会員の皆さんも放送大学以外にいくつかの同窓会に所属されていると思いますが、大抵の同窓会は年1回の総会と機関紙の発行だけで、それ以外は少人数の仲間との懇親会などが中心で、ひたすら過去を追憶する会になっているのではないのでしょうか。

それに比べて神奈川県同窓会は大変ユニークな同窓会に発展してまいりました。たとえば毎月第3水曜日には「弘明寺サロン」を開催して会員の豊富な知識と経験を語って頂き、また年2回の映画鑑賞会では懐かしい名画を鑑賞し、年2回は近郊の施設や街を見学する企画を行い、さらに茶道や太極拳の同好会もあって定期的な集まり

を楽しんでいます。

フェスタ・ヨコハマ(学園祭)では今回初めて「ホームカミングデー」を実施し、従来から実施していた総会や忘年会での懇親会に加えて新たな会員の交流の場を設けました。今回お届けする機関紙の「波濤」は年2回発行し、今回で48回を重ねました。読みやすく、親しみやすい内容に工夫して、このような同窓会の多彩な活動状況を報告していますのでご覧ください。

放送大学での学習は通信授業という性格から、大学キャンパスでの交流の場が少なく、同窓生としての連帯感や母校意識が乏しくなりがちですが、神奈川県同窓会はそれを補うように会員に参加の場を提供しており、まるで現役の学生のサークルのような集まりになっています。こうした実績を踏まえて、今年の春には48人、さらに10月には21人の新入会員を迎え会員数は642人になっています。

このような活動は設立以来過去25年の蓄積の中で積み上げられ、『kanagawa way』として発展してまいりました。役員一同今後もさらに努力して、活動を盛り上げていく所存ですので、会員の皆さんにおかれましてはこうした機会を積極的に利用され、放送大学で共に学んだ絆を深めるとともに、より広げて頂くようお願いいたします。

大成功だったホームカミングデー

安達 美帆子



9月6日、フェスタ・ヨコハマに於いて初めてのホームカミングデーを開催しました。ホームカミングデーは学習センターと同窓会

の共催で、「卒業生へ大学の現状と同窓会の活動状況を紹介する」ことをコンセプトとして企画したものです。

当日は、第4講義室をホームカミングデーの部屋としてパネルや資料の展示と説明を行い、昼食時には茶話会を開催しました。また茶道同好会のご協力をいただいて、ホーム

カミングデー主催のお茶席も午前と午後の2回設けました。

翌7日も展示はそのまま残し、自由に見ていただきました。

●パネルと資料

同窓会の活動紹介として5枚のパネルを作成し、関連する資料も置きました。学習センターからも再入学勧誘のための資料が提供されました。いらした方には展示の説明も行いました。

●茶話会

12時10分から13時まで、茶話会を開催しました。学習センターからは池田龍彦所長と藤田廣司事務長がご出席下さいました。池田所長および佐菜同窓会副会長のご挨拶の後、軽食やスナックを食べながら歓談の時間を持ちました。池田所長はご自身のポケットマネーから、茶話会の軽食用にとPECKの美味しいパンを提供して下さいました。

茶話会の参加者は47名。用意したテーブル席やいす席は一杯になりました。席を移動しながら歓談したり、パネルや資料について質問したりと、参加者の楽しそうな様子が印象的でした。また、テーブル席のレイアウトや卓上の花、用意した軽食やスナックなどはいずれも好評でした。

12時45分には第3講義室に移動して、太極拳クラブによるデモンストレーションを見学しました。最初に澤村雅嗣さんに4つの呼吸法を教えていただいて実際に身体を動かし、次に石田弘子さんによる簡化二十四式太極拳を見学しました。ゆったりとしながらも凛とした動きに魅了されました。

●来場者数

6日の総来場者数は75名でした。また、定員14名ずつの2回のお茶席も満席となりました。

●ホームカミングデーを終えて

今年初めての企画でしたので、実施までに何度も話し合いを重ねて準備を進めました。関わったたくさんの人々の「良いホームカミングデーにしたい」との思いが形となり、来場者から「楽しかった」「ゆっくり座れた」「憩いの場」「来年も是非継続して下さい」などの感想を頂けました。「素晴らしいホームカミングデーでした」と

おっしゃって下さった方も多く、初めてのホームカミングデーは成功裡に終わることができました。



左上: 静寂の時間に入り至福のひと時を過ごす
 右上: 池田センター長と一緒に記念写真を撮った
 左下: 昼時にはセンター長の差し入れのPECKのパンで歓談
 右下: 四つの呼吸法で体をうごかしたり、太極拳を見学した

フェスタ・ヨコハマ (学園祭) を振り返り

金田 保男

神奈川学習センター設立30周年記念「第28回フェスタ・ヨコハマ(学園祭)」は主催「放送大学神奈川サークル協議会」・後援「放送大学神奈川学習センター」により、9月6日(土)および9月7日(日)の2日間盛大に開催されました。今回は学園祭と神奈川同窓会の活躍を振り返ってみます。

【沿革】 学園祭は神奈川学習センター設立2年後(昭和61年)に遡ります。設立とともに歩んできた学園祭は年々規模が拡大し、今では年間最大行事の一つです。神奈川同窓会三つの理念すなわち『誇りを絆に結ぶ』『母校意識で結ぶ』『社会貢献で結ぶ』同窓会」という高邁な理念は学園祭行事にも織り込まれています。

【大学の窓取材】 今年のフェスタは、「大学の窓」にも紹介されました。度々放映されると思いますので是非ご覧下さい。

【文京・足立・群馬同窓会の参加】 この学園祭に文京・足立・群馬同窓会から15名の参加者がありフェスタ終了後、神奈川同窓会との懇親会は大いに賑わいました。

【ホームカミングデー初めての取組】 1年前から計画され動き出したのが約半年前、この時底力を発揮してくれたのが、「神奈川同窓会・会内同好会」のメンバーです。

「弘明寺サロン」を核とする「茶道同好会」「映画研究同好会」(映画ばかりではなくビデオ撮影・ハイテク情報含む)「太極拳クラブ」のメンバーに救われました。学習センター共催として全面的支援を受け、OB諸先輩も多数駆けつけてきて下さり、OB諸氏からは「憩いの場所」として好評を得る事ができ次年度以降の足がかりができました。

【お抹茶コーナー】 以前から人気があった「お茶席」今回は2日間で136名の方におもてなしをしました。その人気の秘密は何だったのでしょうか? 同窓会“家田宗禮先生”指導の下「茶道同好会メンバー」が今年は何度も事前に稽古し、その練習の成果が顕れ「お点前」も先生を含め3名に増えました。この「お茶席」はお茶の心得が有る方ばかりではなく、一般の方に“作法の説明”を行いますので安心して戴けます。

「ひと言感想文」を2点紹介します。そこに秘密が隠されていると思われます。

- ・「日本文化と礼儀正しき作法にふれた気がしました」
- ・「忙しい日々を追われておりますが我を取り戻すような一時となりました」

【福引大会】 フェスタ・ヨコハマのファイナルを飾る「大福引大会」は「同窓会」が担当しておりそのユニークな特徴

を紹介します。①設立30周年記念賞品:学習センターから珍しい外国土産の賞品を提供していただきました。②放送大学叢書:賞品の一つに「叢書」を提供します。販売益は全額主に「交通遺児」や「被災者」の育英資金として寄付し“社会貢献活動”の一翼を担っています。③放送大学オリジナルグッズ(ネクタイ・ストール):「入学者の集い」「卒業・修了祝賀会」等の式典に利用され喜ばれています。ところで気になる一等賞は何が当たったのでしょうか!そっと聞いた処、何と!去年は「横浜港遊覧乗船券(ペアー券)」そして今年「豪華お食事券」と伺いました。来年も楽しみです。



上:法被姿の副学長もお点前を受けた
中:お茶席で文京・足立・群馬の皆さんと
茶道同会のメンバー
下:福引が当たり賞品をゲット!

鷹背アナの大学の窓の取材班がやってきた
最上段:放友会の名物焼きそば
下段左:韓国語のマッコリ店
下段右:センター長のオープニングスピーチ



沿岸域の総合的管理と横浜 2014年9月7日フェスタ・ヨコハマ記念講演 講師:來生 新 放送大学副学長

佐栞 慎二



放送大学副学長の來生 新きすぎ しん先生に、先生の専門分野である海洋の管理法制について基礎的な仕組みと最近の法的な取り組みと、地方での沿岸域の管理の実行例について講演していただきました。質疑応

答を含めて2時間にわたって分かり易くお話して頂き、海洋管理というなじみの薄い分野でしたが、約100人の参加にとっては大変勉強になりました。また横浜市での港を中心とした街づくりについて解説していただき、市民として地元の再開発への関心と、放送大学生としての関与を喚起促されました。以下簡単にレジメを報告します。

海上は陸上と違い所有権の概念がなく、市場機能を通じて管理することはできず、行政が関与して規制することが必要な分野である。国際的には国の主権が及ぶ

範囲は「領海」として沿岸から12カイリ(22.22km)の範囲内とし、また沿岸から200カイリの範囲は国連海洋法条約によって「排他的経済水域」と設定され、さらにその先も国連により「大陸棚」と認定されれば主権的権利が及ぶ範囲とされる。日本は狭小な島国であるが、広大な海に囲まれており、排他的経済水域の面積を加えると、世界で6番目の面積を持つ国である。主権的権利は管轄権とも呼ばれるが、天然資源の探査や開発を独占的に行使することができる権利である。この水域には多様な鉱物資源や生物資源が眠っており、日本は豊富な資源国に変身する可能性を秘めた国である。そのためこれらの水域の深海底資源開発のための技術開発が21世紀の日本の最大の課題である。

国内での海の管理の原則は、海は国有で自由使用が原則であるが、陸地が津波などで水没した海域は元の地主の所有権が認められるなど例外的に私有海域がある。運航や埋め立て、環境、国土利用、漁業など海域の利用については個別の法律で規定し縦割りで管理されている。しかし管理されていない一般海域が広大に存在し、また国と地方との管理空間の境界も不明確で、海域全体を管理する視点がなかった。

そのためオーケストラの指揮者の機能に必要性が認識され、平成19年に海洋基本法が制定され、その中で海洋の総合的管理が初めて謳われた。

こうした流れの中から沿岸域の総合的管理を推進する具体的な取り組みが地方から始まった。首長主導型の例として三重県志摩市では観光と真珠養殖の不振脱却のために、市長が先頭に立って「稼げる、学べる、遊べる新しい里海」を提唱し、里海創生を目指した活動を推進している。岡山県日生(ひなせ)町では漁業協同組合が主導し、牡蠣養殖と漁業不振の克服のために、アマモ場再生を目指して県と協力し海洋牧場を建設して観光と一体化した開発を推進している。

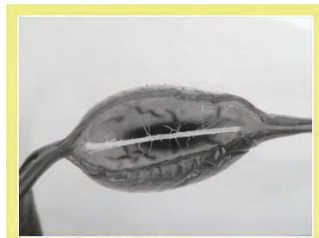
横浜市はドッグヤードの移転跡地を利用して大規模再開発を推進している。これはロンドンでのドッグヤード開発の成功例を取り入れたものである。インナーハーバーを整備し、港を中心にした都市計画を市民と行政と大学が手を携えて推進している。

「弘明寺サロン」は楽しい！！

植地 勢作

「弘明寺サロン」は敷居の高くなってしまったOBの方々に気楽にご参加いただけるように設けた場です。今回は「学問する心とその楽しさ」について9月17日にご講演頂いた高橋昭善さんを例に挙げてご紹介します。

高橋さんは、退職後筑波大学大学院に入学され、若い学生諸君と一緒に大変な苦勞(喜び?)をしながら「海藻の研究」をされ、博士号まで取ってしまったという方です。研究のきっかけはホンダワラの浮き袋の中にあつた一本の白い糸(写真)で、正に「セレンディピティー」であつたと仰っていました。



ヤツマタモク
Sargassum patens

「弘明寺サロン」は色々な方から、毎回このような貴重なお話を聴くことができ、楽しく懇談できる場です。

「弘明寺サロン」は同窓会行事ですが、実はオープンなサロンで、OBはもとより、現役学生の参加も大歓迎です。波濤ネット、ポスター、口コミなどを通じてご確認の上、遠慮なくご参加下さることを期待しています。

今年度は下記のような計画になっています。

- 第31回 10/15「民家園見学と講演会」
(講師:民家園ボランティア近藤達也氏)
- 第32回 11/19「おもてなし」の原点「茶の湯」
(解説:植地勢作)

- 第33回 12/17 演題未定(講師:交渉中)兼忘年会
- 第34回 2/15 第5回映画上映会「南極物語」
映画研究同好会とコラボ
- 第35回 3/18「ストック社会における望ましい住宅像」(講師:浅井公子)

同窓会春の行事 味の素川崎工場見学と川崎大師拝観

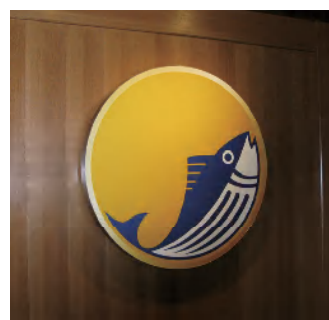
飯塚 武夫

梅雨の時期で天気が心配されていたのですが参加者の心掛けが良いせいと絶好の見学日和となりました。京浜急行川崎駅大師線ホームに8:50に集合し9:04の電車で出発。本日の一番の目的である味の素川崎工場へ。9:08鈴木町駅へ到着。

1、味の素川崎工場

鈴木町駅改札から0分で味の素川崎工場へ。工場の方々が待ち受けていて盛大に出迎えてくれました。鈴木町の駅名は味の素の創業者鈴木三郎助氏の名前に因んだものとのことです。川崎工場の操業開始は1914年(大正3年)。敷地はなんと10万坪で東京ドーム8個分という広大なもので味の素の工場としては国内で最大とのこと。お湯で溶いただけの味噌汁が配られ、そのまま飲んだ味と味の素を入れた後との味を飲み比べました。味の素を入れるとこんなに美味しくなるのかと実感させられました。見学は二班に分かれて開始。

資料展示室で味の素の歴史や商品などを見学。



工場が広いのでバスに乗って工場施設の説明を受けながら移動。ほんだし工場の入口には大きなかつおのマークがお出迎え。

かつおのマークは以前は左上を向いていたそうです。

これを右上にしたのは業績が右肩上がりになるようにとの願いを込めて変えたそうです。ここでは展示品の見学と覚束ない手つきで鰹節削りを体験。

さらにはほんだし味のおにぎりとお茶がふるまわれ美味しく頂きました。その後製造過程の見学。

自動化されていて流れるように製品ができて行くのに感心しました。アジパンダSHOPでは味の素製品を購入する人が多数。帰りにはお土産として味の素製品をいただきました。工場をバックに記念撮影。

11:10頃お見送りを受けながら工場を後にしましたが、味の素の商品が如何に生活に密着しているかを改めて実感させられた見学でした。

2、河港水門

味の素川崎工場を出て600メートルほど徒歩で河港水門へ。河港水門は1926年(大正15年)着工、1928年(昭和3年)に完成。当時の運河・港湾計画に基づいて造られた多摩川の水門です。水門の両サイドの頭頂部には川崎の名産であるブドウ・梨・桃をあしらったおおきな装飾があり存在を主張しているようでした。設計は当時の多摩川改修事務所長の金森誠之氏。有形文化財に指定されています。

3、京浜急行発祥の地

河港水門から約1Kmで川崎大師駅。駅前に大きな車輪をかたどった京浜急行発祥の地の碑。1898年(明治31年)大師電気鉄道株式会社として発足。1948年(昭和23年)京浜急行電鉄株式会社に。

4、昼食会場の「恵の本」

だいぶ歩いたので腹の虫が鳴きはじめました。川崎大師の老舗日本料理店「恵の本」で和定食をいただきました。江戸時代から340年余続く店で女将から店の歴史や地域の話聞きながら美味しくいただきました。

5、川崎大師

事前に予約をしておいたお陰で山口利喜男第二信徒課長さんに案内をしていただくことができました。大本堂、経蔵、大山門、八角五重塔、つるの池、薬師堂等を見学。平成の大改修を終え5月に御開帳をしたばかりとのこと。本日の見学会が無事終了できますように、そしてこれからの皆のますますのご多幸を祈念しました。

6、15時頃に川崎大師駅で解散

あっという間の一日でしたが同窓会の仲間との有意義で楽しい見学会でした。幹事の皆さまには心から御礼申し上げます。



左：河港水門 右：川崎大師第二信徒課長の説明
下：味の素川崎工場のアジパンダ君と一緒に

韓国放送通信大学訪問とその後・・・

村田 カズ子

『初めての韓国語』の面接授業を受けた仲間と韓国語同好会を立ち上げ、2006年11月に学生団体として認可を受けました。釜山に先ず行ってみようと思った時、当時のセンター長、濱田先生が同行下さり、2009年2月に韓国放送大学釜山地域大学訪問が実現しました。その後、2回目は2011年12月、釜山⇒楊平⇒ソウルと南から北上縦断、釜山で旧交を温め、その後、ソウル郊外に元講師だった留学生を訪ねての旅はKTXや中央線(韓国国鉄公社コレイル)での移動に時間を費やした旅でしたが気楽な旅でもありました。そして今回の第3回研修旅行(5/18～5/21)の計画は新しい仲間も加わり、語学力も試したい!



図書館入口にて

そんな野望も秘めつつ…。ソウル特別市大学路にある韓国放送通信大学日本学科を訪問して“一期一会”韓日交流会を計画したのです。

濱田教授も再び同行頂けることになり研修旅行は実現へと本格化、先方の人文科学大学長李璟洙(イ・キョンズ)教授と周知の濱田先生に協力して頂くことで計画はスムーズに進みました。

本部の現図書館長吉田光男教授(アジア朝鮮史)からも事前に情報を頂きました。

近くて遠かった韓国でしたが隣国の国家戦略・文化、観光立国(日本も現政府が謳っていますが)のおかげで韓流ブームが起り、近くて近い国になりつつあったのですがまた最近歴史認識問題を楯に険悪な関係が続いています。現に、出発寸前に先方の教授から「日本では毎日反韓デモが続いていると報道され、日毎にこちらは反日感情が高まっていますが…」とメールを貰いびっくり、行き過ぎた報道は国家謀略でしょうか?そんな時期に行くことが良いのだろうかと思案までとても悩みました。珍島(海割れで有名な島)・観梅島沖海域での客船セウォル号沈没事故(4月16日)に続いて枚挙にいとまがないほどの事故多発の昨今の韓国情勢でしたので…。

今回の成果は何と言っても同窓会所属の他サークルの方(中国語、放友会)が3名参加下さったことです。私のように何が何でも韓国が好きに変人とは異なり、冷静な目で隣国韓国をどのように感じて交流されるのか不安でもあり、期待もありました。しかし、3人とも何のためらいもなく心からの友好と韓国ソウル近郊の旅を一緒に楽しんでくださり安堵しました。放送通信大学訪問は19日午後の約束でした。午前中は明洞のホテルから歩いて近くにある徳寿宮

(朝鮮王朝時代の王宮)見学を予定しましたが月曜休館で中に入ることは出来ませんでした。途中でソウル市庁があり冬場はスケート場になるソウル広場があります。その広場はセウォル号の追悼場になっていました。私たちは黄色いリボンに哀悼の言葉を認め、菊の花を手向け合掌しました。韓国の人は膝を折り地面に額をつけての祈りを長い時間をされていました。儒教独特の挨拶の仕方は印象的でしたし、嘆きの大きさは計り知れません。地下鉄光化門駅構内では犠牲者への献金も行い、少額ですが日本からの気持ちを形にできたことは良かったと思います。

日本学科との交流会は大成功でした。お互いが感じ得た感動の余韻は8月17日～20日に今度は韓国から24名の皆さんの来日に繋がりました。思いがけない速いテンポで絆は深まっていったのでした。8月19日には神奈川学習センター、鎌倉、みなとみらい地区をご案内することが出来、横浜の夜景をお土産に持ち帰って頂きました。感動、感謝の日韓交流会へと繋がったのです。(次号へ)

学籍と同窓会を楽しむ毎日

吉原 司郎



近頃学生でありながら文章を書き認めることが減多になく何を書けばと迷いに迷って筆を取っている始末であります。よろしくお付き合い合います。

既に一昔前になりますが、サラリーマン生活を終え、次の人生を如何に愉しむかを考えていたところ、人の勧めもあって平成12年に放送大学に入学しました。現役時代には、工業製品の品質保証を主な仕事としており、常に責任の重さと堅苦しい日常生活を過ごしておりました。定年後はマイペースの生活をと考え放送大学の学生になりました。正直、今更勉強も食傷気味の思いもありましたが、新しい友人に会えることを愉しみに入学しました。幸いにも期待通り多くの素晴らしい友人に会えることができました。学内ではさらに学問を究め努力されている方も多く、切磋琢磨している環境は退屈していることを許さない環境を醸しており、今更ながら感心している次第であります。

1回目の卒業は6年懸かってしまい、卒論は「アイヌ民族」について取り組み日本民族の歴史をかじってみました。今後の予定は、勤勉には程遠い私自身ではありますが、できれば80歳までに4回目の卒業ができればと考えていますが…。親睦を糧に学習センター帰りの一杯会が楽しみに学校通い続けて行く所存であります。何れにしても多くの友人に会えるのを楽しみながら目標達成したいと考えておりますので宜しくお付き合いのほど願う次第であります。

平成26年9月 卒業証書・学位記授与式

永井 藤樹

爽やかな秋晴れの下9月28日(日)、卒業証書・学位記授与式が行われました。神奈川学習センターの卒業生は118名、式典参加卒業生は69名と発表されました。式典に先立ち式場前ロビーで、同窓会茶道同好会が“桜湯”で接待し、お祝いの日に対応しい花を添えました。

予定通り3時から式典が始まり、広い第8講義室がほぼ満員の状態になりました。池田センター長から卒業生一人ひとりに卒業証書・学位記が授与され、心からのお祝いの言葉がありました。今回の授与式では最高齢85歳の方や、名誉学生になられた方もおられ、日頃の精進の結果が報われ晴れの舞台に立たれました。また女性の卒業生も多く、家事・仕事と勉学の両立の苦難を乗り越えて今日を迎えられた方も多かった様子でした。2回目、3回目を卒業された方、再入学を果たされた方も多くお見受けした式典になりました。その後、センター長を中心に集合写真や専攻・コース別の記念撮影が行われ、滞りなく厳粛に式典が終了しました。

引き続き、弘明寺商店街の“旬菜と魚”の居酒屋「三代目くれば」で祝賀会が催されました。これは同窓会が主催した祝賀会です。卒業生26名、学校側・同窓会側合わせ52名の出席者による祝賀会になりました。再び池田センター長、佐葉同窓会副会長、出席いただいた4人の客員教授の方々からご祝辞を頂きました。卒業生の皆さまからは、お一人ずつ今日の日に至る思いの丈を存分に語り下され、和やかな中に盛大な祝賀会が終了しました。



左：池田センター長から学位記授与
右：佐葉同窓会副会長の来賓スピーチ
下：卒業生全員で記念撮影

国際社会貢献活動



赤松 孝子

神奈川県同窓会では社会貢献の一環としてプラン・ジャパンの活動を応援しています。

プラン・ジャパンは人々の権利と尊厳が守られ、すべての子供たちが能力を最大限に発揮できる世界の実現を目標にしています。

そのため「異なる国籍や文化を持つ人々の相互理解を深め、皆が協力できる関係を築く。世界の子供たちの権利と利益の確立を図る」を合言葉に活動しています。中でも近年特に力を入れているのは女子教育で、女の子の教育や女性の社会参加を目標にした活動を行っています。



プラン・ジャパンのポスター

毎年10月1日は「国際女の子デー」です。フェスタ・ヨコハマでは「子どもと築く未来のしくみ」、「途上国に生まれて」の2本のDVDを上映しました。

神奈川県同窓会に皆さんの寄付金はプラン・ジャパンを通じて5人のチャイルドに年間30万円を支援しています。会員の皆様もこのような活動の趣旨をご理解頂き、引き続きご協力のほど宜しくお願いいたします。

国内社会貢献活動



松下 正博

放送大学叢書を販売して得た手数料を全額あしなが育英会へ寄付する活動が神奈川県同窓会の国内社会貢献活動です。

●あしなが育英会は保護者が亡くなったり、後遺障害のため働けない家庭の子供を物心両面で支えることで、「温かい心」、「行動力」、「国際性」等を兼ね備え、人類社会に貢献する人材の育成を目的としています。最近の寄付実績は次のとおりです。

24年度:48,160円 25年度:40,160円

●放送大学では、大学の知を世の中に役だてようと放送授業教材の名著を叢書化し、神奈川県同窓会でも書店より安い定価の10%引の特別価格で販売して

います。最近の販売状況は次のとおり。

24年度:販売数:94冊 25年度:販売数:103冊

- 叢書の全リストは学習センターに貼りだされています。新刊は授業科目「逸脱行動論(’06)」を元に執筆された25冊目の叢書の「少年非行」が6月に発刊されました。定価(税込価格):1,944円 販売価格:1,750円(定価の90%)
- 叢書の人気は、著作者(知名度・接触度)、内容に左右されているようです。過去1年半の販売実績のベスト3は表のとおりです。フェスタ(学園祭)や入学式・学位記授与式等で販売しております。お求めください。

第1位(23冊)	徒然草をどう読むか(島内裕子)
第2位(16冊)	(こころ)で見る・知る・理解する(小谷津孝明)
第3位(14冊)	老いの心の12章(竹中星郎)

映画研究同好会活動

寺村 紀美夫

神奈川県同窓会の映画研究同好会は昨年(H25年)度会員相互の『顔の見える交流の場』として発足し、今迄に4回の上映会を開催しました。現在映画研究同好会の担当は3名で平成26年度より年2回(2月&8月)の開催で上映後は場を移し学生団体室・同窓会室にて『弘明寺サロン』となり『顔の見える交流の場』として参加者の皆さんと懇親しています。

次回「南極物語」は皆様のご参加をお待ちしています。

2013/9/18	二十四の瞳
2013/11/20	ローマの休日
2014/2/19	喜びも悲しみも幾年月
2014/8/10	グレンミラー物語
2015/2/15	南極物語



監督:蔵原惟繕

主な出演

高倉健 渡瀬恒彦

夏目雅子 荻野目慶子

1983年公開 [東宝]

*配給収入:約59億円

*観客動員数:約880万人

《新しい連絡網がキックオフ》 hatoh-net@iijnet.or.jp

岡本 興和

2014年4月29日(祝日 火)に神奈川同窓会の新波濤ネットの会が開局され交信が始まっています。登録会員には月に1回交信状況をお届けいたしています。主な内容はホームページの更新、行事やイベントのお知らせ、行事のレポート、同窓会からの事務連絡があります。登録はいつでも受付、無料です。Read Only会員は大歓迎です。

2014/10/10現在の会員数は239名。

新「波濤ネット」の特徴は次の通りです。

- ▲高性能のウイルスプロテクション搭載。
- ▲メールに添付できるファイルサイズが大きい。
- ▲迅速に確実にメールを届けることが出来ます。

投稿写真展



大内宿の家並

南会津の山中、全長450mの往還の両側に茅葺の民家が整然と並び、江戸時代の宿場の雰囲気の色濃く漂わせています。永井藤樹さん



天然記念物の「メグロ」

2013年7月に小笠原の母島で写しました。越川敏子さん

事務局だより

平成26年10月10日現在の会員数は642名となりました。また平成26年7月7日(『波濤』47号掲載)以降平成26年秋季入会者は下記の通り21名の方です。

心より歓迎申し上げます。敬称を省略します。

石垣 京子	佐藤 絵海	塚田 典子	中井 匂
疋田 勝三郎	松原 正明	武田 治男	上田 和代
吉田 久美子	佐藤 明子	松野 富恵	守野 留子
Pedro・M Cepeda	小田野 哲	梅原 孝子	熊倉 小六
長谷川 秀雄	神 國雄	本多 真実	増田 和広
山城 洋子			

[kanagawa way]活動

神奈川同窓会の三つの理念

- ①「誇りを絆に結ぶ」
- ②「母校意識で結ぶ」
- ③「社会貢献で結ぶ」を掲げ放送大学における同窓会活動の理想像を目指すkanagawa way活動を着実に推進しています。

年会費納入のお願い

例年総会案内と一緒に年会費「払込取扱票」を同封しておりますのでご協力の程お願いいたします。

口座番号・年会費金額等は下記の通りです。

口座名 神奈川同窓会
 口座記号番号 00250-4-□□16083(右詰め)
 年会費 1,000円(送料はご負担願います)
 お問い合わせ 金田 保男 Tel.045-333-4426

日本の鳥百科でのメグロの記事です。全長13.5cm。背・尾は緑色で、胸・腹は黄色。目の周りに三角形をした黒色斑があるので、メグロです。小笠原諸島の固有種で天然記念物。

波濤49号掲載の写真募集中!

お気に入りの写真をメールでお送りください。
 30文字のコメント・撮影者・撮影場所・年月日
 2015/4/30締切 波濤49号発行:2015/7予定
 okow1439@hotmail.com 岡本興和宛